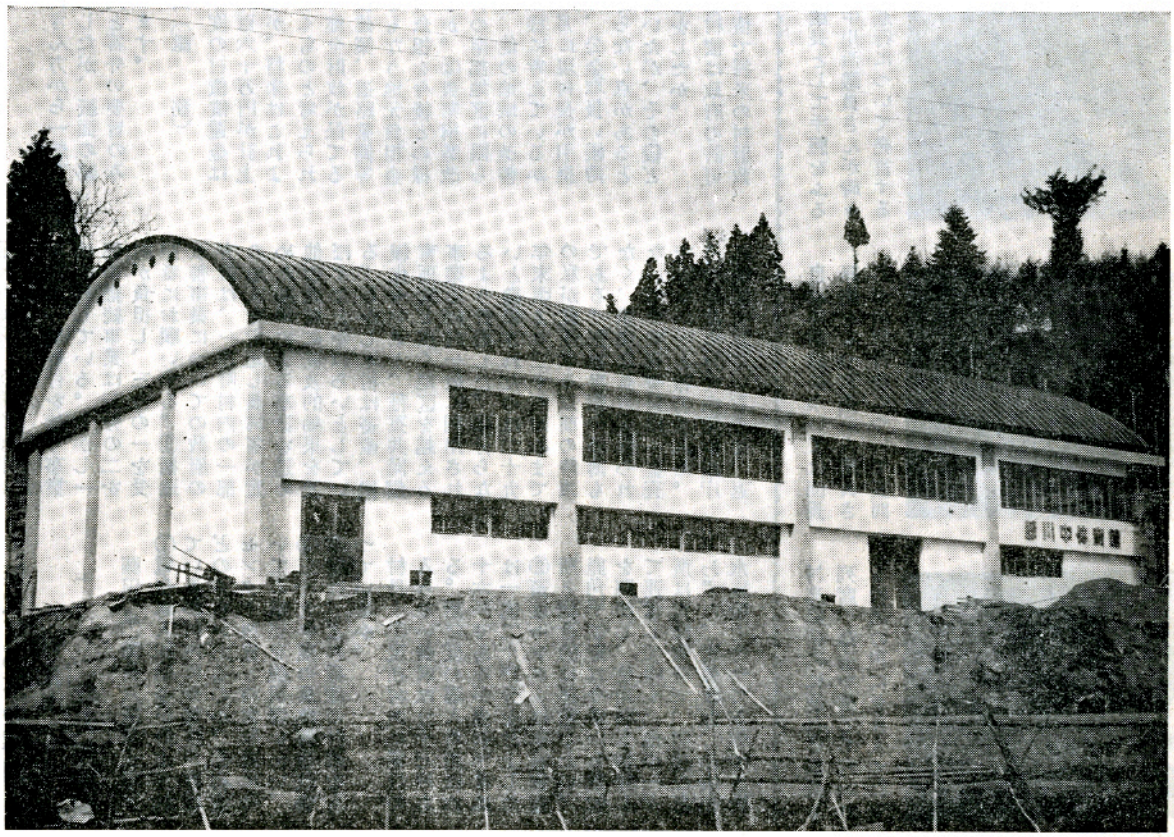
広報
さめがわ

第125号
昭和39年
4月20日発行

編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町　佐藤印刷所



マンモス体育館落成す

○　青生野小中学校にへき地集会室という名の体育館兼講堂ができたのが昭和三十四年。渡瀬中学校に体育館のできたのは昭和三十七年。

どちらも木造モルタル、主要部鉄骨構造の広大なもので当時は村人の目を驚かせたものです。

ところが今度できた鮫川中学校体育館は、鉄骨コンクリート構造、建坪延二一七・一坪。郡内で初めてのマンモス体育館で、近代建築の粋をつくしたもの。

壇の岡にできた村民運動場とともに村人の体位向上に大きな役割を果すことになりましょう。

○

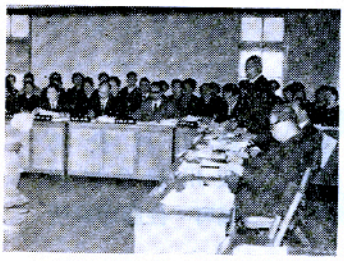
4月の人口と世帯

人口	7.798	(−12)
男	3.866	(−6)
女	3.932	(−6)
世帯数	1.235	(−2)

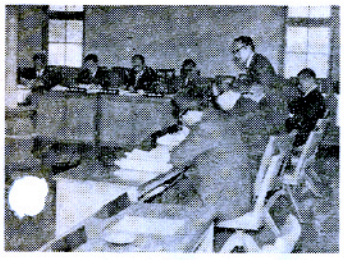
五月十六日県知事選挙

棄権しないで投票しましょう

定例村議会風景



渡瀬黒田線の早期開発について、強く要望をのべる土手内議員さん。



前に議長として手腕をふるった中川西議員さんが時々議事進行について発言する



自治体消防については団長経歴をもつ北条止人議員さんが消防行政について質問



村当局席には連日各課長も列席、議会を通じて行われる村民の声にきき入った

82,676,000円（39年度予算）

産業道路の開発

母子健康センターの建設

本村としては八千万円余にのぼる空前の大型予算を審議する村議会が、三月九日に招集され、十四日まで六日間にわたり審議されましたので次に主な内容をお知らせします。

第一日は村長より四項目にわたる基本方針の説明と（内容は村政の歩み参照）才入才出の各項目にわたる細部の設明があつて第一日を終り、各委員会ごとに議案調査をするため十日まで休議となりました。

農業構造改善事業は地区的にかたよりでないか

十一日に再開された議会には婦人会員五十七名その他十余名の傍聴者のなかで代表質問が行なわれました。続いて多くの議員さん方から一般質問がありましたが、紙面の都で代表質問と答弁の要旨のみ掲載いたします。

大竹議員（総　務）

①三十九年度の村債償還金は元利とも二百六十万円が計上されているが、将来はこれより増してゆくものと考えられるが果して健全財政が保てるか。②学校建築、道路整備等の事業にともなう地元負担金などの税外負担を今後どの様に処理するか。③農業構造改善事業は村の南部地区に限られているが、他の地域の改善事業をどの様に考えているか④三十年四月に現村長が引継を受けた際、公金取扱い帳簿が不備で分らない点があると発表されていたが、その後どの様な処理をしたか。

村長…①村債は政府の許可した事業債で将来の村財政を圧迫する程度のものではない。期間前の繰上げ償還も考えて村有財産の造林も行っている。②税外負担は年々軽減してきた。三十九年度は一般寄付を伴う事業は除外している。しかし一部の継続事業は三分の二を村が負担し、三分の一を受益者にお願いする。③構造改善事業についての政府の方針は、一市町村内の一部の地区を指定し農林省が定めた基準による事業を進め他の地域に波及的効果を及ぼすことをねらいとしている。しかし本村は畜産、機械化センター、稚蚕共同飼育所など広く地区を越える事業で村内一般に利用されるよう計画した。④分らないと発表されたのは二十九年末頃より三十年始めまでの私が就任する以前の時点である。証拠書類や帳簿もなく、確実な証言も得られないので監査委員は「監査できない」と報告された。その帳簿は只今白河検察庁に領置されているので、返り次第再監査ができる見込である。再監査の命令は既に出している。

無電灯部落の解消

畜産センター牧野の整備

藤田（卓）議員（経済土木）

①電気導入補助金が計上されているが村内に無電灯戸数はどのくらいあるのか。②畜産センター設置と村営牧野についての構想を説明願いたい。③三十九年度の農業構造改善事業は、どの程度の計画をもっているか。

村長…①現在村内に電灯の入らない農家は九十七戸ある。新年度の導入希望は六十六戸であるが当初予算には一応二十戸分を計上した②畜産センターは家畜管理所と総合的に運営したい。鹿角平牧野は今年から放牧を開始し、使用料も徴収して運営してゆく。他の一ケ所は東野牧野で、開墾は行わずに、電気牧棚、給塩給水施設を作って放牧する計画である。③構造改善事業は事業認定の一歩前まできた。三十九年度は実施の段階に入り農協ではブルドーザー溝堀機等を購入し、雅蚕共同飼育所を建てる。次に協業組合が集団桑園と牧野を作る。今後指定に伴い補正予算を提出することになると思う。

ゴミ処理場も建設予定

湯座議員（厚　生）

①母子健康センターの構造や運営についての考えを伺いたい。②し尿処理場の完成は喜ばしいがゴミ処理場の建設計画はあるか。③各学校の飲料水不足の声を聞くが簡易水道を作る場合に補助がないか。

村造…①場所はもと隔離病舎敷地附近を考えている。建物は会議室、相談室、風呂場、分娩室等を備えた八十坪ていどの建物とする。診療所長が医療にあたり、村内六名の助産婦の協力を得られる見込である。②塙町に建設したし尿処理場は四月から操業を開始する予定である。ひきつづきゴミ処理場も建てることを考えているが三十九年度中には困難である。③本村でもいづれ簡易水道の施設を計画したいと考えている。国庫助補は規定の上では三分の二以内であるが実額は可成すくない。

給食センターか、学校ごとか、全校実施は研究調査後に

鈴木議員（文　教）

①学校給食が西野西山小の二校で始められたが他の学校では行なわれていない。給食センターを造り全校に実施する考えはないか。②各校一棟くらいの教員住宅を建て教師に安心して教育に当つて貰いたいと思うが村当局の考えを聞きたい。

村長…①給食センターがよいか、西野西山小の方式が良いか調査研究を進めてから結論を出したい。②三十九年度には口庫補助を受けて青生野に一棟建てる。教員住宅は村の義務施設とはいえないので現在はPTAの協力によつて運営しているものもある。しかし税外負担になるので容易でない村営住宅として建てていくことは今後の問題として考慮している。

各議員の質問

以上で代表質問を終りましたが続いて一般質問が行なわれ、蛭田、金沢（甲）、土手内、鈴木の各議員より教育費について、金沢（省）、鈴木議員より林業振興と道路整備遠藤議員より簡易水道、北条星議員より消防費、大竹議員より母子センターと酪農振興蛭田議員より工事請負契約と指定金融機関、湯座議員より用品調度と旅費などについて質問があり村長よりそれぞれ答弁があつた。

十四日には各常任委員長より委員会の審議結果報告が行なわれ各議員より質疑があり藤田（佐）議員より原案に賛成する討論があつて採決に入り、起立全員多数で三十九年度予算は成立しました。

（文責　鈴木）



凍霜等から農作物を守ろう！

本年も恐るべき晩霜の時期となりました。苦心して栽培した農作物を凍霜害から守りましょう。

その技術的な対策を簡単にあげると次のとおりとなります。

◎降霜の恐れある気象条件

①夜間空が晴て澄み、星の光がきらめくとき。

②風が弱く空気が乾いているとき。

③前日の日中に冷い風が吹き時々しぐれ時の小雨が降り肌寒く、夕方になつて風が止み晴れ上つた場合は気温が著しく下る。

◎一般農作物の防霜対策

①被覆法

馬鈴薯―発芽したばかりの頃に霜の恐がある時は、幼芽を土又はモミがらをかけること最初の芽が被害を受け側芽が多く出た場合は、芽かきをていねいに行うと共に生育を促進するように速効性の肥料を施すこと、霜害を受けたものは病害虫が発生し易いから、馬鈴薯粉剤又はポテトツクスなどを撒布すること。麦は一般に元肥として堆肥の施用量が少いもの、肥料特に窒素肥料を過用したもの、又追肥が遅すぎたものは凍霜による被害が大きいから土入を充分にすること、霜害のため損傷を受けた麦では、うどん粉病、などが発生し易いのでこれ等の病気が発生しそうな時は直ちに石灰硫黄合剤四〇倍液を一〇a当り一八〇立ぐらい撒布すること。

②灌水法

この方法で最も効果があるのは苗代で霜害が予想される時は夕方から苗代の水を深くして苗がかくれる様にタップリ水を入れ、翌日朝日が昇つてから水を落す。

尚凍霜害注意法が次によりラジオ、テレビにて放送されます。

NHKテレビ―十七時三十五分、十八時五十七分、十九時二十五分、二十一時十八分、二十二時五十五分、二十三時五十分、NHKラジオ―十五時三分、十七時五分、十七時四十三分十八時五十分、十九時十五分二十一時五分、二十二時五分二十三時三分、二十三時五十八分、ラジオ福島―十五時、十五時五十五分、十七時、十八時三十五分、二十二時、二十三時、この外に必要ある時は随時、特に必要ある時は深夜放送する予定です。

（産業課）

粗放から栽培林業へ

さきに新しい農業らんで招介しました馬場地区林業研究会の研究成果について、会長の円井彦兵衛氏から原稿が寄せられましたので次に掲載します。

地ごしらいのとき枝条葉の全面撒布（なるべく細かく切つて）によつて地力を増し、乾燥を防ぎ杉の生育を高度に生かします。

植付は後去り（山の上より下方に）に植えると苗に対しての障害を防ぎます。良い苗（根張の良い）を選ぶのも大切ですが、山の実情に応じて植穴は深く大きくし苗が三分の一か四分の一はいる程度が良く、今までの一鍬植いは改めて下さい。これによつて林地が良く耕耘され根の乾燥を防ぎ、太い張ばり根がでてくるとこれが杉の成長を左右します。

苗の乾燥を防ぐためにはビニール袋かカマスを使用して下さい。踏みつけは約五十キロの人の体で充分で植付後はなるべく根もとに土などを寄せて乾燥を防いで下さい。

産業青年（青年学級）研修生募集

本年は研修生の中から県外の農業先進地へ派遣するなど新しい事業を加えて内容充実をはかりました。希望者は下記により申し込んで下さい。

記

1. 応募資格　村内に居住していて中卒以上で満23才以下の男女青年の方ならどなたでも結構です
2. 講座内容農業技術研修
   先進地派遣、衣食住の研究、一般教養、村外青年交換会、体育レクリエーションなど農繁期を除き月2回開催します。
3. 申込　希望者は住所、氏名、年令、学歴、世帯主名を書いて、5月27日までに青年研修所か公民館に申しこんで下さい。

昭和39年度才入才出予算表

本年度より予算の様式が変りました。金額は千円単位で、以下は歳入は切捨て歳出は切上げになります。

歳出の総務費は従来の役場費で労働費は失対事業関係の費用です。

（才　入）

款	本年度予算額
1.村税	11.900千円
2.地方交付税	47. 505
3.使用料及び手数料	527
4.国庫支出金	4. 331
5.県支出金	8. 880
6.財産収入	135
7.寄附金	1. 066
8.繰越金	3. 000
9.諸収入	1. 832
10.村債	3. 500
歳入合計	82. 676

（才　出）

款	本年度予算額	本年度予算額の財源内訳			
		特別財源			一般財源
		国県支出金	地方債	その他	
1. 議会費	3.098千円	千円	千円	37千円	3.061千円
2. 総務費	18.982	253	1.000	1.086	16.643
3. 民生費	7.201	2.684	2.500	88	1.929
4. 衛生費	2.653	281		147	2.225
5. 労働費	4.982	2.148		85	2.749
6. 農林水産業費	17.681	6.262		1.197	10.222
7. 商工費	168				168
8. 土木費	5.053			27	5.026
9. 消防費	1.955				1.955
10. 教育費	16.948	1.583		145	15.220
11. 公債費	2.612				2.612
12. 予備費	1.343				1.343
歳出合計	82.676	13.211	3.500	2.812	63.153

おめでた

二月

一七日 新宿 湯坐美和子
二三日 辺栗 生田目浩次
二四日 上高坂 純子
二七日 青生野 長久保和浩
二八日 関下 藤田 正弘

三月

一日 内ケ竜 蛭田 茂
一日 前沼 岡部 清一
一日 青生野 岡部 正江
七日 大竹 溝井 美幸
九日 中沢 岸波 正彦
九日 青生野 中島 洋子
一五日 帆長 北条 弘美
一五日 越虫 松岡 翠
一五日 青生野 大森 幸子
一七日 戸草 矢内 清政
二三日 大石草 芳賀タケ子

おくやみ

三月

二日 青生野67 本多清太郎
一〇日 青生野8 白石みさ子
一三日 塩倉0 矢吹 良子
一四日 馬場79 鈴木勝五郎
一四日 戸草80 三瓶 イソ
一五日 青生野65 長井 栄吉
一七日 蕨ノ草79 阿久津芳之助
二一日 大石草58 有賀 宥治
二七日 中沢78 生田目テウ
二八日 青生野72 鈴木松太郎

メモ

死因……昭和37年の死因順位は①脳卒中……23%②ガン…14%③心臓病…10%④老衰…8%⑤肺炎気管支炎…6%⑥不慮の事故⑦全結核⑧高血圧症⑨胃腸炎⑩自殺……。

①から④までは33年以来ずつと同じ順位だが、こんどはじめて高血圧症が一挙に⑧にのしあがり、これら成人病による死亡の合計が前年より少しふえた。

○

ぞくぞく寄せられる愛の手

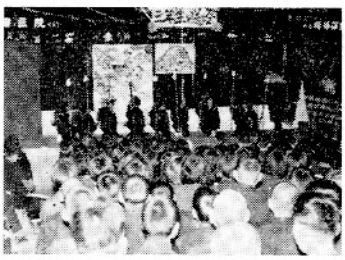
（石井草部落の大火に）

去る三月二十三日に五世帯十七棟を焼き三十五名の被災者をだした石井草部落の大火に、村内外から多数の見舞品が寄せられ部落民を感激させていますが、このほど同部落の代表者中川西金之助氏より誌上から御礼を申し上げたいと、名簿を寄せられましたので掲載いたします。順序は不同です。

横浜市星野子之吉氏（一万円）、須賀川市薄井商店（前掛十枚）、同関根商店（シャツ十枚前掛五枚）、棚倉小学校児童会（学用品一揃九人分）、石川町とく名一婦人（衣類五十点）、村内とく名（一千円）、中野区（五千円）、東石区二十五組（三八、七〇〇円、衣類わら白米その他多数）、富田区、同婦人会（一一、四〇〇円）、役場庁員クラブ（六五〇〇円）、東石青年会（二〇〇〇円）、馬場部落一同（二、五〇〇円）、新宿二組（一、六〇〇円）、同五組（八一〇〇円）、大塩部落（白米三斗）、真坂取上部落（白米二斗三升）、新宿睦会（衣類）、鮫川村婦人会（五、〇〇〇円）、西野婦人会（衣類七十三点、白米二斗三升、七、二〇〇円）、西山婦人会（衣類百五十点余、白米一斗、二、六〇〇円その他）、中野婦人会（衣類百二十一点、白米三斗三升、一千円）、東石婦人会（衣類五十一点、白米と豆一斗、一、四五〇円）、渡瀬婦人会（衣類二十一点、白米四斗七升、大豆一斗一升、三、八〇〇円）、青生野婦人会（衣類二十五点、白米四斗六升、四、三〇〇円）、戸草婁貫婦人会（衣類、白米その他村内の個人の方から多数の見舞品がありましたが、紙面の都合で省略させて頂きます。

三年生を送る会

鮫中では毎年卒業する三年生を送る会が在校生によって行なわれていますが、本年も三月十六日に村の公民館で各学年各クラスごとの催しで、卒業生百四十七名（進学八十二名、就職五十五名、家事手伝十名）を送る会を開きました。



写真は一年D組の演ずる劇「勧進帳」の一場面

桜を「てんぐす病」から守りましょう

この病にかかると枝の一個所からほうき状の小さい枝が多数出て基部はこぶ状にふくれ、葉は小さく花のつぼみはつかず、五月下旬から六月上旬ころ小形の葉のふさの方から黒かつ色になつて枯れ、そのまま一度たしかめ、病気にかかつているものがあつたら早急に除去しましょう。

鮫川村緑化推進委員会

こどもの目

くも



くもがそらをとんでいく、
まるくなつたり
ながくなつたり
大きなくもは、はやいなあ
こどものくもが、どんどん
おいかけていく、
「あつ」おいついたと思つたら、大きな家になつたくものうちは
おもしろいなあ

（鮫小四年　矢吹福代）

保険料は前納しましょう。

国民年金保険料は年四回に納めていただいておりますが前納して頂くと手間がはぶかれ割引されます。

割引される金額は下記のようになつております。

詳しいことは住民課におたづね下さい。

（ん）（き）…（ん）…（ね）

新入学児童の交通事故防止運動

わたしたちを ひかないで

こどものねがい

自衛隊志願案内

たくましい心と、技術の練成、安定した生活と将来への希望、若人達のあこがれの的となつている自衛隊についてお知らせします。

△　応募資格

入隊する月の一日現在で十八才以上二十五才未満の日本人であれば、どなたでも結構で学歴などは問いません。

△　受　付

受付は毎日各市町村役場及び各県庁所在地にある自衛隊地方連絡部で受付ます

△　志願手続

市町村役場又は自衛隊地方連絡部より志願票をもらい記入し、役場又は自衛隊地方連絡部に提出して下さい。

△　試　験

試験場は希望のところでできますので志願票に希望試験地を記入して下さい。

△　受験日及び試験場所

各都道府県ごとに定められることになつております。

△　試　験

簡単な「学科試験」「口述試験」「身体検査」を行い一日で終ります

△　合格と入隊

採用通知は入隊の十日前までに出されます。なお不合格の方には通知しませんその他不審なことがあれば役場庶務課で尋ねて下さい

（庶務課）



月がけと前ばらいの比較例

（10年以内の前ばらい）

年齢	比較＼期間	1年	3年	5年	7年	10年
25歳未満	月がけのばあい	1.200円	3.600円	6.000円	8.400円	12.000円
	前ばらいのばあい	1.170	3.330	5.280	7.020	9.310
	割引額	30	270	720	1.380	2.690
30歳	月がけのばあい	1.200	3.600	6.000	9.600	15.000
	前ばらいのばあい	1.170	3.330	5.280	7.890	11.310
	割引額	30	270	720	1.710	3.670
35歳以上	月がけのばあい	1.800	5.400	9.000	12.600	18.000
	前ばらいのばあい	1.760	5.000	7.910	10.530	13.970
	割引額	40	400	1.090	2.070	4.030

月がけと前ばらいと比較

（全期間前ばらい）

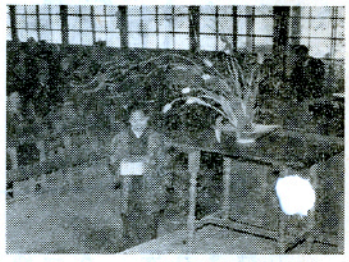
比較＼年齢（期間）	20歳（40年）	30歳（30年）	40歳（20年）	50歳（10年）	55歳（5年）
月がけ額	63.000円	51.000円	36.000円	18.000円	9.000円
前ばらい額	23.540	24.300	22.150	13.970	7.910
割引	39.460	26.700	13.850	4.030	1.090

五月十六日県知事選挙

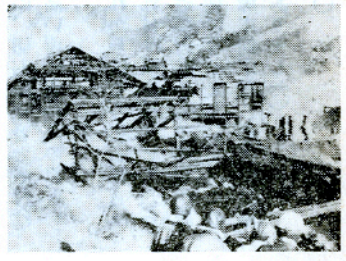
村のできごと



公民館婦人会主催の中央婦人学級で一年間の研修を終え、ホッとした表情の御婦人たち。



独力で五人の子に高校大学の教育を受させた富永トメさんが村長から表彰された



三月二十二日、折からの突風にあおられ石井草の五戸が大火のギセイになつた。



婦人会の役員さんたちが、早速救援物資を集めて現地に急行、罹災者を慰めた。

村長の声み (9)

三十九年度予算のりんかく

村長　石田卯子八

昨年は春以来寒暖の差がはげしく麦の赤カビ病に続いてイモチ病の大発生があり、稲作に大きな影響がありました。

東北の冷害は二年位続きやすい傾向がありますので今年は十分警戒を要する年といえましょう。

それに米麦作減収の後作用が最も深刻にあらわれるのはその次の年である今年ですから、村の新年度計画もこの点を考慮し、財政も引きしめの方針を基調としております。

国際収支の動向、経済成長のすうせいなどから、国も県も同じ方針であることは、既に知られているとおりです。

新年度の才入で税収関係では、保険税以外は増税をさけ村民税は本文方式に移る経過年次に当るので、かなりの減税となる見込みです。

また一般寄付を伴うような事業は繰延べ、継続事業として行われる局地的な林道開拓道についてのみ一部の地元負担を計上しました。

財政の健全性を確保するため、収支均衡財政を貫くこととし、また将来の財政負担に備えて、蔵の草県行造林地の解約を得て、一〇町歩の村有地に、新に植林する計画を立てております。

住民の所得を増大し、村民生活の水準を高める施策として、産業基盤を整備することはこれまでも努力してきたところですが、本年も産業道路の整備開発、農業構造改善の推進を大きく掲げております

本村の県村道はすべてこれ産業の振興開発につながるもので、公共、県単の事業を広く導入するとともに、村道については失対事業による改良補修を一層強化する計画です

当初予算に計上した林道は関口落合岩ノ草の継続三線に塩倉線を加えており、開拓道は江堀線が予定に入っております。

農林省指定による農業構造改善事業も実施年次に入り、機械化センター、稚蚕共同飼育所、集団桑園等の補助助成近代化資金の利子補給などが見込まれています。

広域行政による環境衛生施設の し尿処理場は新年度から操業に入り、隔離病舎組合も拡充され施設の拡張が行われます。

御婦人方の念願である母子健康センターの建築も本年度実施の運びとなりました。

教育の尊重は既定の方針ですが、今年は各学校の経常的経費を充実するとともに、へき地教員住宅、渡瀬中学校の技術教室建築等を予定しましたなお鮫川中学校体育館の内部施設や、校地保全工事も予算化し、また時代の推移に伴う社会教育の充実にも意をもちいてあります。

昭和三十九年度予算はこのような形で議会の議決を得ましたが、近年になく財源難で悩みました。執行の上には相当の困難があると思いますので、御協力をお願いして止みません。

納税だより

今月の納税は軽自動車税と国民健康保険税の第一期分です

軽自動車税については毎年四月に納めていただくことは変りありませんが、国民健康保険税の第一期分が四月納期になつたことが今年変つた点であります。

保険税はその金額が療養の給付費に充てていることは今更申上げるまでもありませんが、医療費の値上りと、保険利用者の急増に伴い従来の税負担ではまかないきれなくなり今年度は前年に比較し約三〇%の増税を行うことになりました。

税額が多くなるに従つて納期も多くすることが、納税者にとつて納めやすくなりますので従来四期制だつた納期を五期制にし次のとおりの納期になりました。

第一期　四月（暫定賦課）
第二期　六月（〃　）
第三期　八月（本賦課）
第四期　十月（〃　）
第五期　十二月（〃　）

本年度第一期及び第二期分の税額は算定の基礎に用いる所得額が確定しないため、前年度の税額の五分の一に相当する額を暫定的に納めていただくことになります。第三期分のときに本年度の税額を決定し第一期及び第二期分として先に納めていただいた分を差引いて納めていただくことになります、以上が今年度から変つた点であります。

今年もどうか全村全納税完納をめざし、各種村税の納期完納に御協力下さるようお願いします。（税務課）

人事異動

村役場でこのほど次のとおり発令しました。カツコは旧任です。

三月三十一日付

依願退職（教育委員会）
主事補　関　信子
同　（役場住民課）
臨時雇　緑川カツ子

四月一日付

議会事務局書記（出納員）
主　事　前田　守保
出納員（役場庶務課）
主　事　白坂　邦次
教育委員会（役場庶務課）
主事補　船木　久子
役場庶務課…新任
臨時雇　高杉タカ子
同　生田目ハツヨ
役場住民課…新任
臨時雇　鈴木八重子

▶ 今月の納税 ◀

軽自動車税と
保険税第1期分です

納期完納に御協力下さい。

告知版

婦人会の新役員

三月中の各分会総会と四月一日の本会総会で次のとおり選ばれました。

◎会　長…藤田ミヨ（再）
◎副会長…蛭田ケイ、大池タカヨ（再）
◎会　計…森クメノ（新）
◎分会長…増谷コノ（西野）水越ハツヨ（西山）、須藤キク（中野）、羽田タケ（東野）、青戸ツナ（富田）芳賀ハナエ（渡瀬）、生田目スミ（青生野）

いずれも新任

へき地校の学級増

鮫小戸草分校ではへき地校複式学級の解消法により四月の新学期から二学級が増級され五学級となります（五、六年は複式）。これで先生は五名となり八十七名の生徒を教える理想的な授業が行なわれるわけです。

給食婦増員される

本年二月より完全給食を始めた西野、西山小では給食婦一名では間にあわないので、増員して欲しいとの要望を村にだしていたが、このほど白坂セイ子（西野）我妻タネ（西山）さんの二名の方が増員されました。

緑の羽根募金運動

本年も例年通り緑の旬間が四月十日より四月十九日の十日間実施されております。このため国土緑化推進運動の一貫として緑の羽根募金運動が各中学校を中心として実施されました。この募金額の六十五％が学校環境整備（庭木の植付）等を行う資金に充てられます。この募金運動に進んで協力いたしましょう。

（緑化推進委員会）

中央婦人学級生募集　35才以上

さきに若妻の方を対象にした学級生の募集しましたが、ひきつづき年配の皆さん方の学級生を下記により募集します。

記

1. 募集人員　約60名
2. 応募資格　満35才以上の農村婦人ならどなたでも結構です。
3. 講座内容　食、衣、住生活、家庭管理、親子関係を中心にした人間関係など、年間を通じ（6月より翌年3月まで農繁期を除き毎月1回）約40時間
4. 申　込　希望者は住所、氏名、年令、世帯主名を書きそえて婦人会の（各分会長さん方、または村公民館（鈴木）あて5月20日までに申しこんで下さい。

郷土の伝説（19）

落馬した代官様

中井恒雄

赤坂西野字塚本地内に切石観世音というのがある。これにはこんな伝説がある。

昔の道路は今のところより南側に面した高いところを歩き、旗門場から入り山づたいに登り上げた頂上は、とても見はらしが良いので、通る人は、かならずここで一休みして行った。

一休みをして出かける時、ここに馬に乗るのにちようど良い足台の石があり、村人達も足台にし乗ると、必ず落馬したのです。



たまたま通りかかりの代官様も、一休みし足台にして乗ったところ、落馬され、これは不思議な石と、堀起したところ、石の一部に凡字がきざまれてあるので、ただの石ではない無雑作な石であるゆいに、切石観世音と名付け一段高い所に祭ったのだという。

それからはこの切石観音は安産乳付け観音様として知られ、近郷近在から参拝者が集まる様になりました。（この話は塚本鈴木善八郎氏の御協力がありました）

○



優勝杯をうける

村の養蚕中堅青年研究会（会長、北条辰之、会員四十二名）では、日ごろの研究の成果が認められ去る三月二十一日に郡山市民会館にて行なわれた県蚕業中堅青年競技会の技術改善部門で、惜しくも優勝をいつしたが準優勝となり蚕糸新聞賞と優勝杯を獲得しました。

村税の納付は農協窓口で

先に広報やチラシ等でお知らせして置きましたが、昭和三十九年度分の村税から農協の窓口で納めていただくことになりました。納めに行くときに納税通知書や納付書を忘れたり紛失したりすると農協で再発行できませんので御注意下さい。

（税務課）



村のみなさんへ

坂本六良

①富田字反田②鮫小③大正八年④新聞記者⑤六人⑥福島市

文学と、革命運動に一生を捧げる決心で村を出たのが昭和六年の十一月でありました。満洲事変の最中です。それから数えて三十四年、当時二十四の青年はいま五十六の老人になりました。

文学の方は新聞記事に化け、革命運動の方は院外団に堕しています。それでも去年は長編小説をひとつ書きました。村の便りで、私がちよいちよいテレビやラジオに出るのを話題にしているそうですが、それは革命運動の院外団的行動のときでありましょう。

議員だの、首長になる気はぜんぜんありません。いちど大平三郎だの、鈴木幸夫におだてられて、選挙なるものをやったことがありますが、考えてみればつまらないことをやったものだとおもいます。こんども社会党や共産党の人々から県民共斗議長として知事選にどうかなどといわれておりますが、真っ平ごめんです。第一当選することはないでしようが、あんたなら落選してもべつにどうということもないでしようからね、ではおかアしくつてやられるもんですか。

五十六にもなると私にしても故郷がなつかしく、人の世の用が済んだら富田の奥の鍬木田の雑木林の中にでも庵というほどの家を造つて、それこそ晴耕雨読の日日でもおくろうかと考えているところです。

子どもだけは人なみに教育しようと発心し、すでに三人大学へいれました。一人は一昨年卒業し、一人は来年卒業する予定です。末っ子は今中学三年ですが、これが大学へいつてもあと七年ぐらいで一応子どもの教育はおわります村へ帰ればその頃ですが、石田さんも松本清寿さんも、鈴木一君も、村の方みなさん元気でいてください。

石をもつて追われるごとく、ふるさとを…の啄木でさえ渋民村はありがたきものでありました。ましてつねに温情をもつて見まもられる私の鮫川村はこのうえもなくなつかしい故郷です。

長くなりますからこのへんで、それではみなさんごきげんよう。

一九六四年四月一日

あとがき

今の世の中は昔とちがつて人情が薄くなつたと言われますが、石井草部落の大火にしめされた同情の声は多くの見舞品となつて現われました。

道徳心に欠けていると言われる現代つ子たちも、この親たちの行為をどの様に受けとめたでしようか、あるPTA会長さんのお宅の話を聞いて何か感じさせられるものがありました。

罹災者の方に心から御同情申上げるとともに、一日も早く災害から立ちなおられんことをお祈りします。（鈴木）